

システム変更等のお知らせ

(2001.5.12 - 2001.7.2 変更)

システム運用掛

1 ハードウェア ... なし

2 ソフトウェア ... 変更

2.1 H I - U X / M P P ; mpp-s, mpp-p, mpp-bt ... 変更

アプリケーションプログラム開発環境	0 1 - 0 2 (2001.5.31)
-------------------	-----------------------

- 性能モニター情報付きソースリスト出力機能をサポートしました。
- コールグラフ出力機能をサポートしました。

H I - U X / M P P	0 3 - 0 4 (2001.6.30)
-------------------	-----------------------

2.2 V O S 3 / F S ; m-vos ... 変更

T R U S T E 2	0 9 - 0 4 (2001.5.31)
---------------	-----------------------

W e b 5 6 0	0 2 - 0 1 (2001.5.31)
-------------	-----------------------

W e b ブラウザ連携機能	0 4 - 0 0 - / A (2001.5.31)
----------------	-----------------------------

- W e b 5 6 0 と W e b ブラウザ連携機能を新規にサポートしました。本機能の詳細は本誌別記事「W e b ブラウザ使用による V O S 3 の利用方法」を御覧下さい。

2.3 H I - O S F / 1 - M J ; m-unix ... なし

2.4 H I - U X / M P P ; bulk-s, bulk-p, bulk-bt ... 変更

アプリケーションプログラム開発環境	0 1 - 0 2 (2001.5.31)
-------------------	-----------------------

H I - U X / M P P	0 3 - 0 4 (2001.6.29)
-------------------	-----------------------

3 その他

3.1 /var/tmp ディレクトリーの一時ファイル自動削除機能の設定

残された一時ファイルによる /var/tmp ディレクトリーの容量不足を防ぐため、2001年6月1日に SR8000/MPP、5月31日に SR8000/128 のバッチシステムで使用する /var/tmp に一時ファイル自動削除機能を設定しました。これにより、バッチジョブ実行中に /var/tmp に出力されたファイルはジョブ終了時に自動的に削除されますので、ジョブ終了以後も必要なファイルは /var/tmp 以外のディレクトリーに出力するようにして下さい。また、これまでジョブスクリプト内に明示的に一時ファイルの削除指定 (rm、rmfiles 等) をしていた場合は不要となります。なお、Gaussian98 のスクラッチファイルの出力先を変更するときはスクリプト中で環境変数 GAUSS_SCRDIR を変更して下さい。詳細は本誌別記事「一般的非経験分子軌道計算プログラム Gaussian98 の使い方」を御覧下さい。

スーパーコンピュータと利用者ホスト間の FTP 転送について

SR8000/MPP (mpp-s、mpp-p)、SR8000/128 (bulk-s、bulk-p) と利用者ホスト間の FTP によるデータ転送速度が遅い (数十 Kbytes/秒程度) 問題について本センターではシステムの設定やネットワーク経路上の設定等の調査を実施し、対策を行うことで現在のところ改善しています。本件に関しましては接続元のホストや経路に依存する問題を含むことが多く、調査に大幅に時間がかかり、大変御迷惑をお掛けしました。調査は現在も継続していますので状況が改善されない場合には御連絡下さい。なお、重要な問題点の一つとして、御利用のホスト上のネットワークインターフェース及びネットワーク経路上の HUB、ルーター等の設定のうち Negotiation 設定 (Auto/Full duplex/Half duplex) が各機器間で不一致の場合には転送速度が遅くなるという事例があります。転送速度が改善しない場合には、所属するサイトのネットワーク管理者等に一度御確認頂くことをお勧めします。